

## 原文

1941年7月、日本の陸海軍はサイゴン(現在のホーチミン)に入った。これを南部仏印進駐(①)という。サイゴンは、日本の南進の拠点となる軍事上の重要地点だったので、危機感をつのらせたアメリカは、すぐに在米日本資産の凍結と対日石油輸出の全面禁止で報復した。8月、米英両国は大西洋上で会談を開き、大西洋憲章を発表して、領土不拡大、国境線不変更、民族自決など、両国の戦争目的をうたった。悪化した日米関係を打開するための日米交渉が、ワシントンで行われたが、進展はなかった。

日米交渉の時期について、誤解するおそれのある表現である。

## 修正文

1941年4月、悪化した日米関係を打開するための日米交渉がワシントンで始まったが、交渉はまとまらなかった。7月、日本の陸海軍はサイゴン(現在のホーチミン)に入った。これを南部仏印進駐(①)という。サイゴンは、日本の南進の拠点となる軍事上の重要地点だったので、危機感をつのらせたアメリカは、すぐに在米日本資産の凍結と対日石油輸出の全面禁止で報復した。8月、米英両国は大西洋上で会談を開き、大西洋憲章を発表して、領土不拡大、国境線不変更、民族自決など、両国の戦争目的をうたった。日米交渉は続けられていたが、進展はなかった。